

平成25年度 外部評価結果一覧

事業番号	1・2	①内部評価	優先度	妥当性	達成度	効率性	合計	今後の方向性	現状における課題
事業名	総合オンブズパーソン事業・市民相談事業	担当課 (総合オンブズパーソン事業) (市民相談)	3	3	4	3	13	E 現状維持	<p><総合オンブズパーソン事業> 現状では、業務継続は必要。市の業務だけでなく公的団体等の業務に対しても、この制度が活用できるように協力を要請しているが、今後は、福祉サービスを行う民間事業者との協定を拡大したい。</p> <p><市民相談事業> 相談業務の需要は増加傾向にある。市民ニーズの的確な把握に努め、効率性や費用対効果の側面にも配慮しつつ、専門相談の充実に向けた検討も必要。</p>
担当部署	企画部 秘書広報課		4	3	4	3	14	E 現状維持	
評価実施日	8月 31日(土)								
事業概要		②外部評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	合計	今後の方向性	評価結果と今後の方向性
<p><総合オンブズパーソン事業> ○市政に関する苦情を、公正かつ中立的な立場のオンブズパーソンが簡易な手続きにより迅速に処理し、市民の権利利益を擁護する制度 ○オンブズパーソンは、内容の審査及び調査、市の機関に対する是正勧告・制度改善の提言等を行い、申立人に調査結果を通知する。 <市民相談事業> ○日常生活の問題や悩みを抱えた市民に対し、相談を無料で実施。予約制。 ・専門的な相談 法律相談(弁護士)、行政相談(行政相談委員)、人権身の上相談(人権擁護委員)、交通事故相談(弁護士)、登記相談(司法書士)、相続・遺言等暮らしの手続き相談(行政書士)、不動産相談(宅地建物取引主任者) ・市政に関する相談 市民相談(市職員)</p>	佐久間委員長	4	4	4	4	16	一部改善	<p><総合オンブズパーソン事業> 市政に対する苦情申し立ては、行政の透明性の確保、市民の権利擁護の観点からも欠かせない重要な事業であるといえるが、相談受理件数に対して約340万円の報償額は、他市と比べても高額であるといわざるを得ない。そのため日額や件数ごとの報酬制の導入など、活動実態に合わせた報酬とすべきで、報償額の見直しは条例改正も含めて検討課題である。同時にこの制度について市民への周知も進めていただきたい。</p> <p><市民相談事業> 相談謝礼の見直しを行い、コスト改善に取り組まれていることは評価できる。一方でニーズの高い法律相談に関して、利用者の利便性向上に向けて回数制限、所得制限、予約のキャンセル対応等の検討を行い、効率的運営を図っていただきたい。また、高齢者等の社会的弱者に対する相談業務の拡充も希望する。</p>	
	和田副委員長	5	4	4	3	16	一部改善		
	出雲委員	3	4	3	3	13	一部改善		
	松本委員	4	4	3	3	14	一部改善		
	村上委員	4	3	3	2	12	一部改善		
	山田委員	4	4	3	3	14	一部改善		
	委員平均	4	3.8	3.3	3	14.2			

事業番号	3	①内部評価	優先度	妥当性	達成度	効率性	合計	今後の方向性	現状における課題
事業名	保健福祉総合システム管理	担当課	4	3	4	3	14	E 現状維持	<p>○社会保障・税番号制度の法案成立に伴い、保健福祉総合システムへの影響度について調査・検討を図る。 ○平成27・28年度に実施予定のシステム更新事業に向けて、課題の洗い出し等の事前準備作業に着手する。</p>
担当部署	総務部 情報推進課								
評価実施日	9月 28日(土)								
事業概要		②外部評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	合計	今後の方向性	評価結果と今後の方向性
<p>システムの安全かつ安定した稼働を維持する。 ○システム機能強化対応資源の適応作業・管理の実施及び保守委託業者常駐SEによるシステム稼働監視と障害発生時の一次切り分け作業の実施 ○機器等の修繕・交換等の保守作業の実施 ○法制度の改正に伴うパッケージ改修対応の実施</p>	佐久間委員長	5	4	4	4	17	一部改善	<p>市の保健福祉に関する業務は行政の要のひとつであり、適切な業務執行、迅速な処理のために総合システムを採用したという点、その委託費、効率性の検証に関わる専門家の配置等、コストを意識した取り組みが的確に機能している点は評価できる。 今後の方向性として、他市と連携を図りながらコストパフォーマンスの向上、長期的なコスト削減計画を立案される必要がある。特にシステムエンジニアの常駐人数は妥当であるか検討されたい。また、システム経費に関して透明性を確保できるような仕組みの確立についても検討していただきたい。</p>	
	和田副委員長	5	4	4	3	16	現状維持		
	出雲委員	4	3	4	3	14	一部改善		
	松本委員	5	4	4	4	17	一部改善		
	村上委員	5	4	4	4	17	現状維持		
	山田委員	5	5	4	3	17	一部改善		
	委員平均	4.8	4	4	3.5	16.3			

事業番号	4・5	①内部評価	優先度	妥当性	達成度	効率性	合計	今後の方向性	現状における課題
事業名	市民税賦課事務・市税収納事務	担当課 (市民税賦課)	3	3	4	3	13	E 現状維持	<市民税賦課事務> ○引き続き適正かつ公平な賦課事務を遂行する。 <市税収納事務> ○クレジット収納の導入及び導入後の利用促進を図ること。 ○納期内納付推奨による督促状発布を減少させること。 ○口座振替の利用促進を図ること。 ○銀行等における窓口納付の場合の電算システムへの納付確認の迅速化を図ること。
担当部署	市民部 課税課・納税課								
評価実施日	8月 31日(土)								
事業概要		②外部評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	合計	今後の方向性	評価結果と今後の方向性
<市民税賦課事務> ○対象者の給与支払報告書・確定申告書等の賦課資料により、課税・非課税の賦課決定を行う。 ○納税義務者・特別徴収義務者(事業者)に税額通知書等を発送する。 ○市内に事務所等を有する法人に対し、決算時に応じて申告書・納付書を送付する。法人から申告書の提出を受け、審査・確認をする。 <市税収納事務> ○収納管理事務:税の収納、過誤納還付、口座振替事務、統計事務、納税証明書発行、督促状の発付 ○滞納整理事務:催告書発送、財産調査、差押等の滞納処分、執行停止事務	佐久間委員長	5	5	4	4	18	一部改善	<市民税賦課事務> システム化により事務の効率化を図り適切な事業執行が行われている点で評価できる。 <市税収納事務> 勸奨業務の外部委託化等の経費削減策、収納率向上策に成果が表れている点は評価でき、引続きクレジット収納、コンビニ収納のPRをすすめ、成果拡大に向けて取組んでいただきたい。 両事業とも事業費の多くを人件費が占めており、コスト削減には臨時職員化、嘱託化等の人件費圧縮の取組が必要である。	
	和田副委員長	5	4	4	3	16	一部改善		
	出雲委員	5	4	4	3	16	現状維持		
	松本委員	5	4	4	3	16	現状維持		
	村上委員	5	5	4	3	17	一部改善		
	山田委員	5	4	4	4	17	現状維持		
	委員平均	5	4.3	4	3.3	16.7			

事業番号	6	①内部評価	優先度	妥当性	達成度	効率性	合計	今後の方向性	現状における課題
事業名	シルバー人材センター補助事業	担当課	3	3	4	3	13	E 現状維持	今後、就業を希望する高齢者の急速な増加が見込まれるため、安定した就業機会の確保が必要となる。しかし、高齢者の就業については地域に限定され、また高齢者の多様なニーズに対応した就業を確保するには手間がかかるため、十分な就業機会を確保することが難しい。
担当部署	市民部 産業活性化室(生活コミュニティ課)								
評価実施日	9月 18日(水)								
事業概要		②外部評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	合計	今後の方向性	評価結果と今後の方向性
公益社団法人昭島市シルバー人材センターの職員の人件費及び人材センターの施設等の維持管理に係る経費の一部について補助金を交付する。	佐久間委員長	3	3	3	3	12	一部改善	高齢者に対する就業機会の提供は健全な高齢化社会の実現には必要不可欠であり、センターの業務は市民ニーズや公共事業の担い手としての役割は大きい。一方で高齢者の働く場としての選択肢が増える中、シルバー人材センターの意義の見直しが迫られている。 今後の方向性として、公益社団法人としての経営内容は良好であると判断されることから、市からの補助金で運営を維持する体制から、自立した運営体制へのシフトを促したい。事務職員の臨時職員化等の事業費削減についてや、センターのイメージを向上させるためのアドバイス等の働きかけを求めたい。また、透明性の確保から、外部の専門家の監査を受審することが望ましい。	
	和田副委員長	2	2	2	2	8	廃止・休止		
	出雲委員	3	3	2	3	11	一部改善		
	松本委員	4	3	3	3	13	一部改善		
	村上委員	5	2	3	3	13	拡充		
	山田委員	4	4	3	3	14	一部改善		
	委員平均	3.5	2.8	2.7	2.8	11.8			

事業番号	7	①内部評価	優先度	妥当性	達成度	効率性	合計	今後の方向性	現状における課題
事業名	健康診査事業	担当課	5	3	3	4	15	E 現状維持	受診率を向上させることが重要であるが、更なる受診率の増加に向けて、予算措置をはじめ多くの課題がある。
担当部署	保健福祉部 健康課								
評価実施日	10月 1日(火)								
事業概要		②外部評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	合計	今後の方向性	評価結果と今後の方向性
特定健診、後期高齢者健康診査の対象とならない市民に対し、健康診査を行う。また、市民一般健診として特定健診、後期高齢者健康診査及び被用者被扶養者で健康診査を受ける際に、市で独自に定めた項目を別に実施する。	佐久間委員長	4	4	4	4	16	一部改善	この事業の目的は、特定健診等の対象とならない市民に健診の機会を提供することで、病気の早期発見や生活習慣の見直しを促し、長期的視野から医療費の抑制を図ることである。現状については独自の検査項目の追加や項目単価を診療報酬と同額に抑える取組みで成果が見られる。 今後の方向性として、未受診者への勧奨対策、検査結果で異常があった市民へのフォロー、受診率向上に向けての啓発活動などへの積極的な取組みが必要で、これまで以上に市民の健康増進に向けて予防施策を強化していただきたい。	
	和田副委員長	5	4	3	3	15	一部改善		
	出雲委員	4	3	3	3	13	一部改善		
	松本委員	5	5	3	3	16	一部改善		
	村上委員	5	4	3	3	15	一部改善		
	山田委員	4	3	3	3	13	一部改善		
	委員平均	4.5	3.8	3.2	3.2	14.7			

事業番号	8	①内部評価	優先度	妥当性	達成度	効率性	合計	今後の方向性	現状における課題
事業名	児童センター管理運営	担当課	3	4	3	4	14	E 現状維持	○児童センターの運営経費には国、東京都の補助が無く、一般財源充当率が高い。 ○開館から10年を経過し、施設設備の大規模改修を検討する時期に来ている。
担当部署	子ども家庭部 子ども育成課								
評価実施日	9月 28日(土)								
事業概要		②外部評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	合計	今後の方向性	評価結果と今後の方向性
○児童センターの運営 開館：午前9時30分～午後9時00分 休館日：第2日曜日、国民の休日、年末年始 年間開館日数：331日(平成24年度) ○各種事業の開催 定例事業(延270回)、単発事業(延18回)、夏事業(延22回) ○子ども安全見守り事業の実施 329日 ○施設の維持管理 建物、空調、消防設備、雨水ろ過設備等の維持管理	佐久間委員長	4	4	3	3	14	一部改善	児童・生徒の健全育成の一環として必要性はあり、開館時間の長さや開催イベント数、設備面において、他市と比較しても充実度は高く利用しやすい施設であるといえる。また、コスト面でも運營業務を委託したことにより約900万円の経費削減が図られ、その点でも評価できる。 今後の方向性として、広く0～18歳すべてを対象とする施設は無駄が生じると思われ、今後2館目を開設する際には、対象年齢を限定した小規模施設とし、先進事例の取入れ等効果的な運営をしていただきたい。また、中高生の居場所づくりを進める上で中高生対象事業への積極的な取組みも望まれる。コスト面においては更なるコスト削減に取組むべく、競争入札や定期監査の導入、それに付随する業務の質を維持する仕組みづくりも検討していただきたい。	
	和田副委員長	5	4	3	4	16	一部改善		
	出雲委員	4	4	4	3	15	一部改善		
	松本委員	3	3	2	3	11	一部改善		
	村上委員	5	3	3	2	13	一部改善		
	山田委員	4	3	3	3	13	一部改善		
	委員平均	4.2	3.5	3	3	13.7			

事業番号	9	①内部評価	優先度	妥当性	達成度	効率性	合計	今後の方向性	現状における課題
事業名	崖線緑地保全事業	担当課	3	3	4	3	13	E 現状維持	<p>○公有緑地が増加すれば、維持管理費用も増加する。</p> <p>○崖線であることから、崩壊の危険性も考えられ、無計画な公有化は危険を伴う。</p> <p>○上記を考慮すると、有償での公有化が必要な場所は限定される。</p>
担当部署	環境部 環境課								
評価実施日	8月 31日(土)								
事業概要	②外部評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	合計	今後の方向性	評価結果と今後の方向性	
<p>公有崖線緑地における樹木のせん定及び枯損木の除伐等を委託することによる適正管理。</p>	佐久間委員長	5	4	3	3	15	拡充	<p>市民生活上の安全の確保、生態系の保全、地下水脈確保、景観保持といった観点から、この事業の果たす役割は大きく、宅地化の伸展で崖線を守る必要性は一段と高まっているが、崖線の緑の管理に徹しているのが現状であり、対応策としては充分とは言えない。</p> <p>今後の方向性としては、崖線が開発されてしまう危険性は常にあるので、少しずつでも公有地化の努力を続けていき、それと同時に崖線の必要性を教育などを通じて市民に広めていく必要がある。また、コスト削減策としてメンテナンス業務に市民参加やシルバー人材の協力を求めたい。限られた財源の中で効率的に事業を進める観点から、関係8市で協力し、国や都へも保全の要請を続けていきたい。</p>	
	和田副委員長	5	3	4	3	15	拡充		
	出雲委員	4	4	3	3	14	一部改善		
	松本委員	5	3	3	2	13	拡充		
	村上委員	5	4	3	3	15	一部改善		
	山田委員	4	4	3	4	15	一部改善		
	委員平均	4.7	3.7	3.2	3	14.5			

事業番号	10	①内部評価	優先度	妥当性	達成度	効率性	合計	今後の方向性	現状における課題
事業名	鉄道駅自由通路等維持管理	担当課	5	4	4	3	16	E 現状維持	<p>維持管理を行っているが</p> <p>○トイレ等が荒らされる苦情が多い。</p> <p>○拝島駅北口のエスカレーター上の排水処理設備がないため、大雨が降った時にエスカレーターに油が混じり歩行に支障が出るので、改善したい。</p>
担当部署	都市整備部 管理課								
評価実施日	9月 28日(土)								
事業概要	②外部評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	合計	今後の方向性	評価結果と今後の方向性	
<p>各駅の自由通路等の清掃及びエレベーター・エスカレーターの清掃</p>	佐久間委員長	5	4	4	4	17	一部改善	<p>鉄道駅自由通路の安全・清潔の確保、快適性の維持に欠くことが出来ない業務であるが、拝島駅について、自由通路の建設により市民の通行、通勤通学の利便性は向上したが、そのためにこれほど多額のコストがかかっていることに驚いている。</p> <p>今後の方向性として、市民だけではなく鉄道利用客の利便性も向上していることから、鉄道事業者にも管理費用の一部を負担してもらおうよう要請を継続する、委託内容の仕様についても精査し、委託費の妥当性の検証を行うなど、維持管理に多額の経費を要することから、あらゆる手段を用いて市の負担を減らす努力は継続されるべきである。また、歳入確保策として広告板の利用促進も図られたい。</p> <p>なお、東中神駅の橋上化の際には、維持管理のコストを意識した方向での整備をお願いしたい。</p>	
	和田副委員長	5	2	4	2	13	一部改善		
	出雲委員	4	3	4	3	14	一部改善		
	松本委員	4	4	3	3	14	一部改善		
	村上委員	5	3	3	3	14	一部改善		
	山田委員	5	4	3	3	15	一部改善		
	委員平均	4.7	3.3	3.5	3	14.5			

事業番号	11・12	①内部評価	優先度	妥当性	達成度	効率性	合計	今後の方向性	現状における課題
事業名	学校管理運営(小学校・中学校)	担当課 (小学校) (中学校)	3	3	4	3	13	E 現状維持 E 現状維持	○学校管理に係る経常経費が多である。 ○校舎、設備ともに老朽化しているため、設備(備品等)の入れ替えなど対応が必要である。
担当部署	学校教育部 庶務課								
評価実施日	9月 18日(水)								
事業概要		②外部評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	合計	今後の方向性	評価結果と今後の方向性
○学校運営のための施設管理 ○学校運営のための消耗品、備品等の設備の充実 ○学校運営を支障のないものとするための委託、臨時職員の雇用 ○学校運営に必要な連合会、研究会への負担金支出 ○校庭芝生化の維持管理(小学校のみ)	佐久間委員長	5	4	4	4	17	一部改善	生徒・児童の心身の安心、安全の確保及び健全育成、学力向上のためには学校施設の維持管理は重要であり必要性は高い。光熱水費等、需用費削減についてはコスト意識を持って取組まれた結果、全体的に経費削減の努力が見られるが、一方で土地借上料の上昇により負担が増している。 今後の方向性について、コスト削減策を継続する中で、芝生化による経費増大が見込まれるため、それを抑える方策を検討していただきたい。また、負担が増している国有地の借上げについては、借上料の設定が国の通知で一方向的に決まってしまうため、契約金額について再度、国との話し合いの場を持っていただきたい。少子化傾向が続く中、余裕教室を地域で活用することも検討課題である。	
	和田副委員長	5	4	4	3	16	一部改善		
	出雲委員	5	3	3	3	14	一部改善		
	松本委員	5	4	3	4	16	一部改善		
	村上委員	5	4	4	4	17	現状維持		
	山田委員	5	5	4	3	17	一部改善		
	委員平均	5	4	3.7	3.5	16.2			

事業番号	13	①内部評価	優先度	妥当性	達成度	効率性	合計	今後の方向性	現状における課題
事業名	市民図書館管理運営	担当課	5	2	4	3	14	E 現状維持	○本館、分館で開催するおはなし会への小学生の参加人数が少ない。 ○中学高校生の登録率、利用が少ない。 ○市民ニーズにこたえるために所蔵する図書を増やし、快適な図書館サービスを提供する。 ○新規事業の実施に伴う、サービスの低下を防ぐためにボランティアの活用を図る。
担当部署	生涯学習部 市民図書館								
評価実施日	10月 1日(火)								
事業概要		②外部評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	合計	今後の方向性	評価結果と今後の方向性
○小学校新一年生における貸出券の作成 ○本館、分館、分室において、乳幼児から低学年向けのおはなし会を月1回以上実施 ○小学校へのブックトーク実施 ○講演会・講習会の開催(子ども読書活動推進事業) ・子ども向け:「夏休み楽しい科学あそび」、杉山亮氏の『ものがたりライブ』 ・保護者向け:「初めての読み聞かせ講座」、後路好章氏講演会『赤ちゃんは、こんな絵本を待っている』 ・市民向け:「あきしま語りのまつり」、「中学高校生の読書フォーラム」 ・ボランティア向け「おはなしボランティア向け講座」 ○デイジー図書作成講習会(初級)の実施 ○図書購入	佐久間委員長	5	4	4	3	16	一部改善	若年層の活字離れが進む中、児童が図書に親しむきっかけづくりの取組が多面的に実施されている点に特色がある。また、コスト面では分館の管理運営を委託し、人件費を削減できたことは評価できる。 今後の方向性として、昭島市の特徴を高める運営が求められている中、図書の配置、イベントの企画、空間づくりなど、新図書館の建設を待たずに市民にとって利用しやすい図書館づくりに取組み、新規の利用者の開拓を望む。また、児童を対象とした事業展開のみならず中高年層のニーズを取り入れた事業の実施など新たな試みを展開し、利用促進を図っていただきたい。蔵書数を増加させることは図書館機能の基本の一つであるので、さらなる民間委託化、ボランティア等の活用をすすめることで人件費の削減を図り、その分で図書の充実を図っていただきたい。	
	和田副委員長	5	4	3	3	15	一部改善		
	出雲委員	5	4	3	3	15	一部改善		
	松本委員	5	4	3	3	15	一部改善		
	村上委員	4	4	3	3	14	一部改善		
	山田委員	5	3	4	3	15	一部改善		
	委員平均	4.8	3.8	3.3	3	15			